

The Tokyo Tanuki Times

東京タヌキタイムズ

2016年7月号 通巻91号 毎月1日発行 購読無料

©MIYAMOTO Takumi,2016

責任編集：宮本拓海 発行：東京タヌキ探検隊！tokyotanuki.jp

クマとタヌキの赤ちゃんはよく似ている？

足で簡単に見分けることができます



(左)タヌキの足跡。

(右)ツキノワグマの足跡。

いずれも成獣のもの。大きさの比は正しくない。タヌキ成獣で小型犬程度の大きさ。ツキノワグマ成獣は幅10cm以上になる。

「クマ(またはイヌ)の赤ちゃんだと思ったらタヌキだった」という事件は毎年日本のどこかで発生しています。今年もまたある不幸な事件が起こってしまいました。

クマのエサになりかける

2016年6月16日、青森県南部町の会社敷地内で2頭の「子グマ」が発見されました。同町農林課は母グマも近くにいると判断し、捕獲するため現場に子グマを入れた捕獲用オリを設置しました。しかし翌日になってもクマは現れないため捕獲は断念、子グマの引取先を探すことになりました。その過程でこの動物がクマではなく子タヌキであることが判明したのです。考えようによってはこの子タヌキたちはクマのエサにされかけたわけで、ちょっとひどい扱いだったと言えます。

この事件では最初に猟友会の人が出たにもかかわらず判別を間違ってしまった。タヌキとクマの判別

はそんなに難しいものなのでしょう。実はそうでもないのです。

まず見るべきは足です。タヌキの足はイヌとほぼ同一で(タヌキもイヌ科に分類されますので)、4本のツメ(指)があります。前足にはさらにもう1本のツメ(親指)があります。これもイヌとまったく同じです。成獣では親指は地面に届かない位置にありますが、幼獣では他の指に近い位置にあるため5本指のように見えるかもしれません。ですが後足は4本指です。クマは前後とも5本指なのでそれだけで簡単に区別ができます。また、クマの指は5本がほぼ横に並んでいる形になっています。これらを知っていればタヌキとクマを間違えるはずはないのですが、日本人の野生動物の知識が残念なレベルであることをこの事件はあらためて証明してしまいました。

イヌとはどう判別する？

タヌキの赤ちゃんはクマよりもイヌの赤ちゃんにそっくりです。足の

形も同一なので赤ちゃんの時点でタヌキだと断言できる人はかなり少ないでしょう。ではどうやって判別すればいいのでしょうか。大丈夫、これも簡単なことです。生後1ヶ月も経てば全身がタヌキらしい模様に変化しますので誰でも気がつきます。

また、東京都23区のように野良犬がほぼゼロの地域では放置されたイヌの赤ちゃんに遭遇する確率も極めて少なく、まずはタヌキを疑うべきなのです。

なお、今回の事件は正確な位置情報がわからないため東京タヌキ探検隊！のデータベースには記録していません。新聞記事やテレビニュースは場所がはっきりしないため不採用になることが多いのです。

スポンサー枠

スポンサー募集中です！

全国のタヌキ、ハクビシンなどの情報を集めています。

<http://tokyotanuki.jp>